

データあり

  
 令和5年12月5日

市政記者クラブ 様

東山総合公園  
 担当 動物園 白木・江口  
 電話 782-2111  
 (京都市動物園と同日発表)

## ツシマヤマネコが移動します

環境省によるツシマヤマネコ保護増殖事業により、ツシマヤマネコの移動がありますので、下記のとおりお知らせします。今回の移動完了後も、東山動植物園で飼育するツシマヤマネコは4頭になります。なお、本件は京都市動物園と同日発表しています。

### 記

#### 1 来園するツシマヤマネコについて

##### (1) 個体情報及び来園予定日

| 血統登録番号  | 愛称     | 性別 | 生年月日          | 出生地    | 転入元                      | 来園予定日           |
|---------|--------|----|---------------|--------|--------------------------|-----------------|
| No. 99  | りん     | メス | 2022年<br>7月6日 | 福岡市動物園 | 環境省ツシマヤマネコ<br>野生順化ステーション | 2023年<br>12月11日 |
| No. 105 | ベニー スモ | オス | 不明            | 野生由来   | 環境省対馬野生生物<br>保護センター      | 2023年<br>12月11日 |

##### (2) 来園理由

環境省が策定した「令和5-6年 ツシマヤマネコ飼育下繁殖計画」において、東山動植物園にて繁殖目的で飼育することとなったため。

##### (3) その他

- ・ **No.99は公開をする予定はありません。**
- ・ No.105は、野生で保護される前の段階で左前肢を欠損した個体です。体調等も見ながら、可能な範囲で公開をします。

#### 2 転出するツシマヤマネコについて

##### (1) 個体情報及び転出予定日

| 血統登録番号  | 愛称    | 性別 | 生年月日           | 出生地    | 転出先      | 転出予定日           |
|---------|-------|----|----------------|--------|----------|-----------------|
| No. 81  | 結(ゆい) | メス | 2017年<br>4月27日 | 福岡市動物園 | 京都市動物園   | 2023年<br>12月20日 |
| No. 103 | したる   | メス | 2023年<br>4月23日 | 東山動植物園 | 井の頭自然文化園 | 2023年<br>12月21日 |

##### (2) 転出理由

環境省が決定した「令和5-6年 ツシマヤマネコ飼育下繁殖計画」において、No.81は京都市動物園で繁殖を目的として、No.103は井の頭自然文化園で社会性の習得のために他のネコと同居を試み、将来的な繁殖に寄与するため。

##### (3) その他

- ・ 今回の移動は、転出先での一般公開を前提にするものではありません。
- ・ **移動日程が決定したことにより、No.103(したる)の一般公開は、転出準備のため令和5年12月17日(日)をもって終了します。**

### 3 今後東山動植物園で飼育するツシマヤマネコ

| 血統登録番号  | 愛称      | 性別 | 生年月日       | 出生地       | 目的    |
|---------|---------|----|------------|-----------|-------|
| No. 83  | 勇希(ゆうき) | オス | 2017年5月11日 | 京都市動物園    | 展示・繁殖 |
| No. 89  | レイラ     | メス | 2019年4月15日 | 福岡市動物園    | 繁殖    |
| No. 99  | りん      | メス | 2022年7月6日  | 福岡市動物園    | 繁殖    |
| No. 105 | ベニー スモ  | オス | 不明         | 対馬 (野生由来) | 展示・繁殖 |

※網掛けが今回来園する個体です。

※繁殖を目的として飼育する場合、原則メスは公開しません。オスは繁殖期以外公開します。

### 4 取材等について

- ・来園及び転出時の個体の撮影はできません。
- ・ツシマヤマネコ舎は繁殖エリアと展示エリアに分かれており、開園中の展示エリアのみ撮影可能です。展示エリアにいないツシマヤマネコを撮影することはできません。

(参考)

#### ■国内のツシマヤマネコ飼育頭数

10施設29頭 (オス13頭、メス16頭) 令和5年9月30日時点

#### ■ツシマヤマネコについて

長崎県対馬だけに分布する野生のネコであり、ベンガルヤマネコの亜種とされています。生息数は90または100頭程度と絶滅が心配されており、平成6年3月に国内希少野生動植物種に指定されました。体長 約50～60cm、体重 約3～5kgの大きさで、体全体の斑点模様、額の縞、耳裏の白斑 (虎耳状斑)、太くて長い尻尾などが特徴です。主に森林に生息していますが、田や畑でネズミやモグラなどを捕食します。絶滅危惧IA類 (環境省レッドリスト2020)。国の天然記念物。

ツシマヤマネコの飼育下繁殖については、平成26年5月に環境省と公益社団法人日本動物園水族館協会の間で締結した「生物多様性保全の推進に関する基本協定」に基づき、全国9施設で取り組んでいます。

#### ■写真



来園する個体No.99(りん)、写真提供：環境省ツシマヤマネコ野生順化ステーション (令和5年10月撮影)



来園する個体No.105(ベニー スモ)、写真提供：環境省対馬野生生物保護センター(令和5年9月撮影)



転出する個体No.81(結(ゆい))(令和5年6月18日撮影)



転出する個体No.103(したる)(令和5年11月15日撮影)